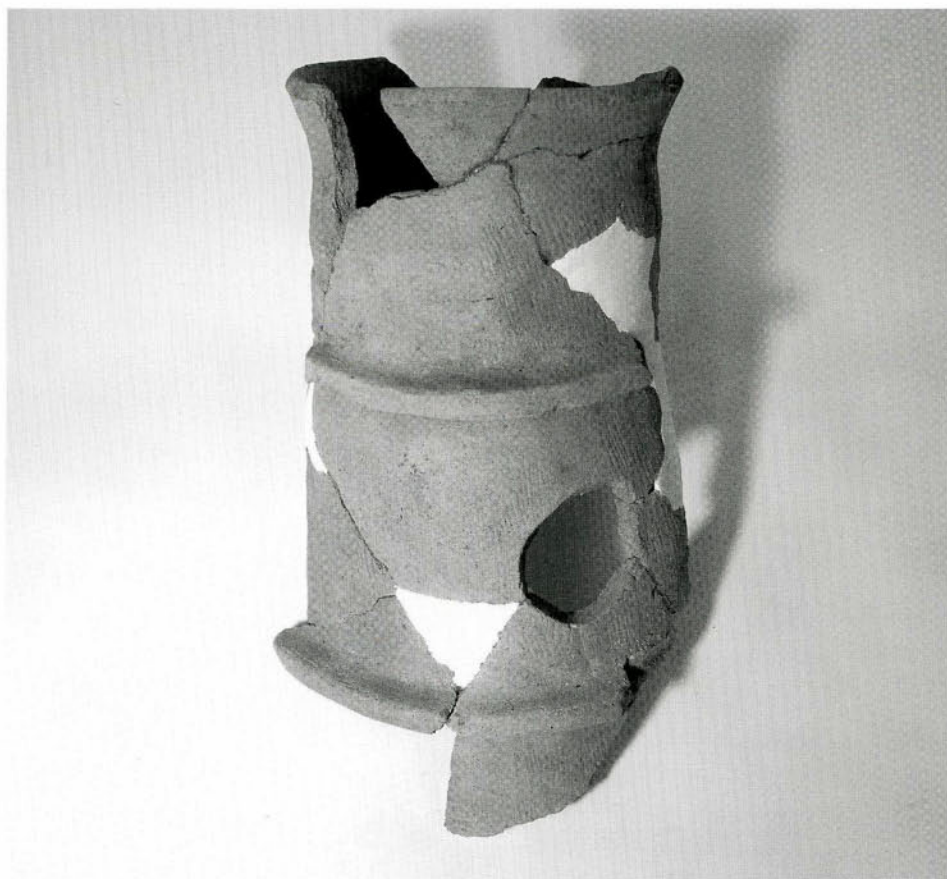


平成16年度（2004年度）

日田市埋蔵文化財年報



発刊にあたって

平成17年3月22日をもちまして、日田市は旧日田郡の天瀬町、大山町、上津江村、中津江村、前津江村の2町3村と合併し、新市としての船出を迎えました。これまで行われてきた埋蔵文化財の保護活動はその範囲を広げ、文化課は文化財保護課として新たな体制へと機構改革され、新たな局面を迎えてゆくこととなります。

本書は旧体制のもとで実施された埋蔵文化財の保護活動を記録した最後の報告となりますが、これまでの成果は新たな組織と新市へと引き継がれ、今後も埋蔵文化財の発掘調査事業を進めるとともに、これと一体化した普及・啓発活動の一層の充実を図っていき、事業者及び市民の方々に対して埋蔵文化財への理解をより一層深めていただくよう努力してゆきたいと考えております。

最後になりましたが、この1年間日田市の埋蔵文化財調査および普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

平成17年6月

日田市埋蔵文化財センター施設長

日田市教育庁文化財保護課長 後藤 清

例言

1. 本書は、平成16年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 本書には、大分県教育委員会が日田市内で行った埋蔵文化財保護事業の一部も併せて掲載している。掲載にあたっては田中裕介氏（県文化課）の協力を得た。
3. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センターにて保管・展示している。
4. 表3・4における「詳細地図番号」は日田市作成「1/2,500都市計画基本図」および大分県作成「1/5,000大分県森林基本図」、「住宅地図」をもとに作成し、センターにて保管している。
5. 受領図書は平成16年4月1日～平成17年3月31日の間に日田市教育委員会と日田市立博物館あてに寄贈いただいた埋蔵文化財関係書物を掲載した。
6. 受領図書一覧表の作成では、伊藤一美氏の協力を得た。
7. 表紙写真は、薬師堂山古墳出土の埴輪である。（本文5頁参照）。
8. 平成16年度の埋蔵文化財調査担当は、土居和幸・行時桂子・若杉竜太・渡邊隆行、普及啓発事業担当は中村邦宏である。なお、薬師堂山古墳の調査は別府大学にその一部を委託した。
9. 本書の執筆はⅠ-2）、Ⅱを各担当者が行ったほかは、渡邊が行った。文責を末尾に記している。なお、薬師堂山古墳に関しては、別府大学教授下村智氏、講師玉川剛司氏、大学院生越知琢也・末國睦和氏による。
10. 編集は各担当者間で協議し、渡邊が行った。

目次

発刊にあたって

| | |
|-----------------------|----|
| Ⅰ 平成16年度の埋蔵文化財調査事業 | 1 |
| 1) 平成16年度埋蔵文化財調査の概要 | 1 |
| 2) 発掘調査・確認調査の概要 | 4 |
| 3) 試掘調査・立会調査・照会の概要 | 12 |
| Ⅱ 平成16年度の埋蔵文化財普及・啓発事業 | 13 |
| 1) 埋蔵文化財センター運営事業 | 13 |
| 2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動 | 14 |
| 3) 指定文化財 | 15 |
| 4) その他 | 15 |
| Ⅲ 受領図書一覧 | 16 |

I 平成16年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成16年度埋蔵文化財調査の概要

平成16年度の発掘調査等の動向(表1)

平成16年度は公共事業・民間開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前照会件数は58件、このうち試掘・立会調査を行ったものは30件、発掘調査を行ったものは10件であった。

発掘調査は民間開発に伴うものが2件で、その原因はマンション建設が1件、分譲住宅造成に伴うものが1件であった。県公共事業に伴う発掘調査は農業基盤整備事業に伴う町ノ坪遺跡B区、金田遺跡、小西遺跡の3件で、市の公共事業に伴う発掘調査は市道建設に伴う求来里平島遺跡D区、公民館建設に伴う入龍遺跡、水道施設建設に伴う中尾原遺跡の3件であった。そのほか、史跡整備に伴う事前確認を目的としたガランドヤ古墳、史跡の内容確認を目的とした薬師堂山古墳の2件の確認調査を実施した。また大分県教育委員会が市内で1件の発掘調査を行っている。

前年度と比較した全体的な傾向としては、事前照会審査件数が若干増加し、それに伴い試掘・立会調査件数も増加しているものの、発掘調査件数は前年度から横這いである。公共事業に伴う開発件数は増減を繰り返しながらほぼ水平傾向を示しており、民間の開発件数は、平成10年度前後を中心とした増加傾向が若干落ち着きながらもやや回復の兆しが見られる。今後は合併により、開発に伴う照会件数は増加し、更なる拍車がかかるものと予測され、これに対応するための新市での調査体制の整備、職員の資質の向上、作業の効率化など、多くの課題が提起されるものと考えられる。

平成16年度の発掘調査の内容(表2)

本年度は旧石器時代の調査例はなく、縄文時代から中世にいたる遺跡の調査を行っている。

縄文時代の調査としては中尾原遺跡で前期の集石跡が確認されている。

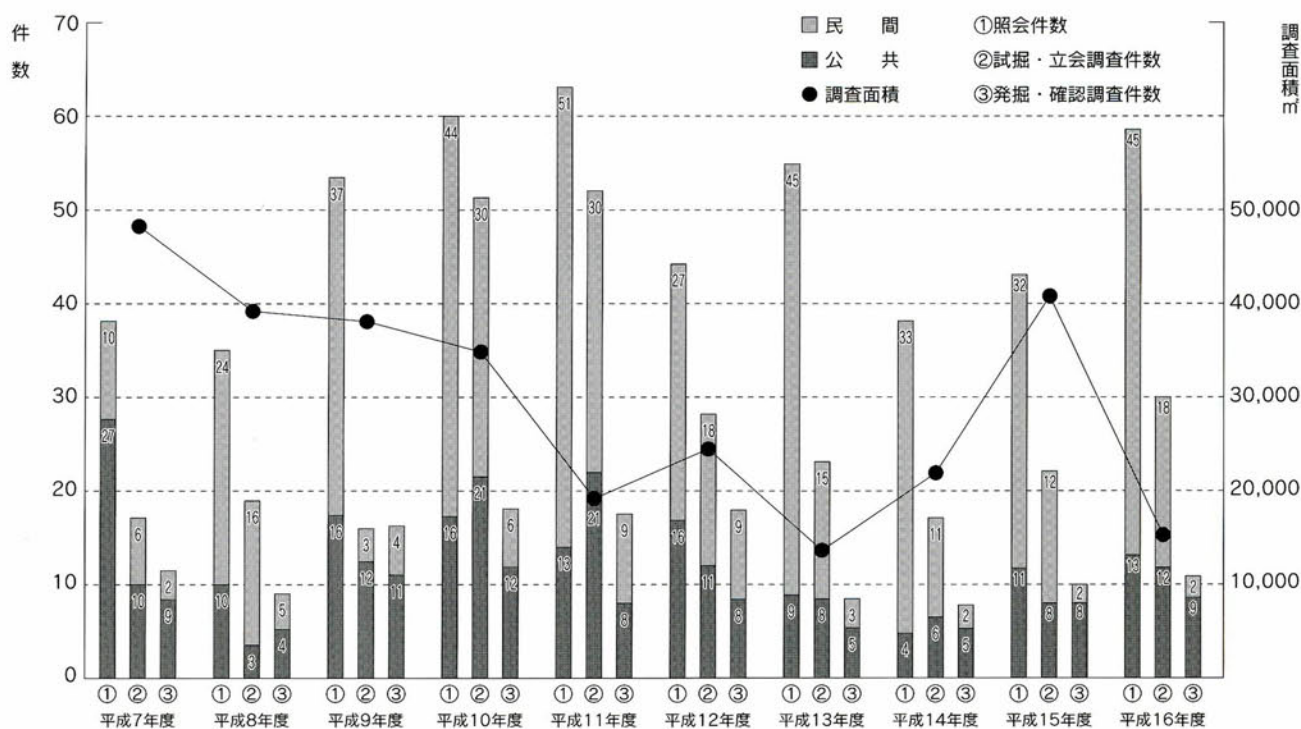
弥生時代の調査では、金田遺跡で中期末～後期末にかけての集落が確認され、竪穴住居跡や小児用甕棺墓、石棺墓などが検出されている。また、金田遺跡の対岸に位置する小西遺跡では中期末～後期の竪穴住居跡や掘立柱建物跡が数軒確認されている。いずれも中期の円形住居や後期の方形住居が見られ、住居構造の変遷を追うことの出来る好資料である。求来里地区では近年の圃場整備に伴う調査で弥生～古墳時代の調査例の増加が見られ、特に中期から後期の遺構が多く発見されており、この時期の集落変遷を検討する好資料として注目される。そのほか入龍遺跡では後期の包含層が確認されている。

古墳時代の調査としては、ガランドヤ古墳1号墳で周溝および墓道の確認が行われ、周溝は確認できなかったものの、墓道の残存状況が明らかとなり、追葬や祭祀に使用されたとみられる土器類が多数確認されている。また、市内では数少ない埴輪の出土する古墳である薬師堂山古墳では、周溝は確認できなかったものの、埴端が確認され、径約38mの大型円墳であることが明らかとなるとともに、形象埴輪が出土している。このほか、求来里地区の町ノ坪遺跡B区、金田遺跡、求来里平島遺跡D区の各遺跡では5～6世紀の集落跡が密集して確認され、日田市内でも資料の少ないカマド導入期の住居構造の変化や集落変遷を知る上での好資料である。なかでも特に、町ノ坪遺跡B区からは朝倉古窯跡産と見られる初期須恵器、金田遺跡からは朝鮮半島系と見られる須恵器類が出土するなど、須恵器の導入過程を知る貴重な資料が得られている。昨年度調査の町ノ坪遺跡C区出土の須恵器無蓋高坏も含め、今後の資料の整理報告が期待される。また、入龍遺跡では柱穴などの遺構が確認され、集落の存在が明らかとなった。

古代の調査では町ノ坪遺跡B区で溝跡が確認され、また、大波羅遺跡では弥生～古代と想定される溝、古代～中世と想定される掘立柱建物跡が確認されている。

中世の調査では慈眼山瀬戸口遺跡において、多数の柱穴群、溝跡や石組の井戸、整地層などが確認されている。整地層や遺構からは大量の土師器と共に銭や瓦、漆製品、木器類などの遺物の出土も豊富であった。大蔵古城跡にも近く、当該期中世大蔵氏と関連する施設の可能性が想定されている。また、求来里平島遺跡D区では中世～近世の堆積層が調査され、木器などが発見され、大波羅遺跡では土坑が確認されている。

表1 埋蔵文化財の調査件数および調査担当者の推移



| | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 専門職員数 | 4 | 4 | 5 | 3 (4) | 4 | 3 (4) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 嘱託職員数 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 調査面積 | 48,230 | 38,343 | 37,510 | 33,846 | 16,794 | 21,254 | 10,552 | 18,663 | 38,827 | 13,309 |

面積単位：m²

表2 平成16年度発掘・確認調査一覧表

日田市教育委員会

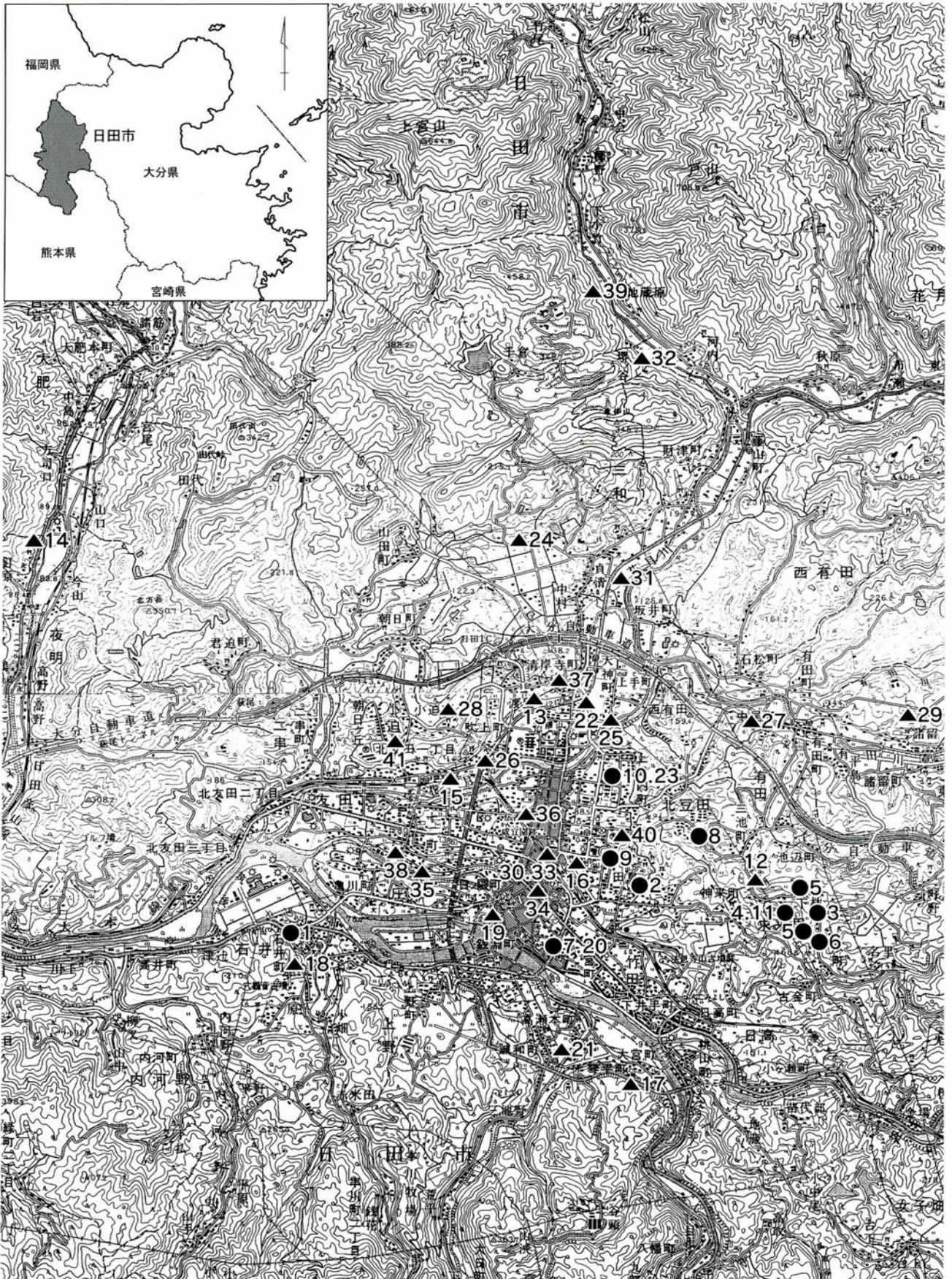
面積単位：m²

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 事業主体 | 調査原因 | 開発面積 | 調査面積 | 調査年月日 | 費用負担 | 調査担当者 | 備考 |
|----|--------------|---------------|------|---------|--------|-------|-----------|------|-------|-------------|
| 1 | ランドヤ古墳 | 石井1187他 | 市教委 | 確認調査 | - | 101 | 0913~1126 | 国庫補助 | 土居 | |
| 2 | 薬師堂山古墳 | 田島554 | 市教委 | 確認調査 | - | 30 | 0307~0325 | 国庫補助 | 土居 | 一部附大学に託 |
| 3 | 町ノ坪遺跡B区 | 求求里字町ノ坪1550他 | 大分県 | 圃場整備 | 14,000 | 7,100 | 0405~0730 | 原因者 | 渡邊 | |
| 4 | 金田遺跡 | 求求里字金田1060他 | 大分県 | 圃場整備 | 44,000 | 1,600 | 0428~1126 | 原因者 | 若杉 | |
| 5 | 小西遺跡・町ノ坪遺跡D区 | 求求里字小西1406-1他 | 大分県 | 圃場整備 | 51,000 | 2,000 | 1201~0325 | 原因者 | 若杉 | 町ノ坪D区は次年度継続 |
| 6 | 求求里平島遺跡D区 | 求求里字平島1759-1 | 日田市 | 市道建設 | 1,300 | 1,100 | 0405~0614 | 原因者 | 行時 | 前年度継続 |
| 7 | 入龍遺跡 | 竹田字入龍624-1 | 日田市 | 公民館建設 | 1,641 | 450 | 0615~0818 | 原因者 | 行時 | |
| 8 | 中尾原遺跡 | 北豆田字原1838-6 | 日田市 | 水道施設 | 260 | 260 | 0818~1014 | 原因者 | 行時 | |
| 9 | 大波羅遺跡3次 | 田島108 | 民間 | マンション建設 | 927 | 199 | 0525~0527 | 原因者 | 土居 | |
| 10 | 慈眼山瀬戸口遺跡 | 上城内町435-1 | 民間 | 宅地分譲 | 2,726 | 400 | 0217~0331 | 原因者 | 渡邊 | |

大分県教育委員会

面積単位：m²

| 番号 | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 開発面積 | 調査面積 | 調査年月日 | 費用負担 | 備考 |
|----|------|-------------|------|------|------|-----------|------|----|
| 11 | 金田遺跡 | 求求里字金田1054他 | 河川改修 | - | 650 | 0614~0813 | 原因者 | |



● 発掘調査 ▲ 試掘・立会調査 ○ 県教委調査

平成16年度発掘調査位置図 (1/60,000)

ガランドヤ古墳は盆地西部の河岸段丘上に築造された3基の古墳で、このうち1・2号墳は石室内部に赤や緑の顔料を用いて、彩色が施された装飾古墳として周知され、昭和59・60年の確認調査（1次調査）では新たな壁画の発見や多くの遺物が出土するなど、その後の平成5年には国史跡の指定を受けている。

今回の2次調査は史跡ガランドヤ古墳保存整備事業に伴い、1次調査段階では古墳周辺に住宅が建ち並んでいたため、確認することができなかった1号墳の周溝や墓道などの検出を主目的に実施した。調査では古墳周囲にトレンチ6本を設定し、その確認に努めた。

各トレンチの概要は、次の通りである。

1トレンチは古墳東側に設定したもので、調査では住宅建設時の攪乱が深くまでおよんでおり、周溝の確認までにはいたらず、また遺物の出土もなかった。

2・3トレンチは当初石室正面に別々に設定したが、墓道や前庭部を確認できたので、1つのトレンチとした。調査では1号墳石室に続く墓道の閉塞石や列石の一部と、前庭部の一部を確認したほかにピット数個を検出した。閉塞石は頭大の川原石を積み上げており、閉塞の幅は約1.2mを測る。この確認によって、1号墳の複室構造の石室の長さは約10mであることが判明した。さらに、前庭部はその一部しか確認し得ていないが、幅が約4m、長さ約5mほどの規模と想定できそうである。

また、この前庭部一帯からは、追葬時の副葬などの祭祀に関係する須恵器甕・脚付壺・甕や土師器高坏などが出土し、なかでも土師器高坏の量が目立った。これらの遺物の時期については、今後の整理を待ちたいが、概ね6世紀末以降の年代に比定される。

4トレンチは古墳の西側に設定したが、ここでも周溝の確認までにはいたらなかった。土師器や縄文土器の破片が少量出土した。

5トレンチは2・3トレンチと4トレンチの間に設定したが、周溝の確認までにはいたらなかった。遺物は土師器の破片が少量出土した。

6トレンチは古墳の北側に設定したが、範囲も狭く、周溝の確認までにはいたらなかった。遺物は縄文土器が出土した。

以上が、今回の調査の概略であるが、墓道の閉塞石や列石、前庭部が確認できた点は大きな成果で、1号墳の石室構造を知る上では貴重な資料である。また、前庭部での多くの遺物の出土は、1・2次調査における石室内での遺物の出土量が少なかったことを考えれば、1号墳の築造時期などを検討するには好材料といえる。

これらの結果は、今後の古墳の保存整備の参考資料に成り得るが、調査目的の1つとしていた周溝が確認できなかったことは、周溝そのものの有無も含めて課題として残った形となった。この点については、次年度に継続した確認調査のなかで解決できることを期待したい。

(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



古墳正面と2・3トレンチ



4トレンチ調査風景



2・3トレンチ発掘状況

2.薬師堂山古墳

— 史跡の内容確認に伴う発掘調査 —

古墳は、盆地東部の大原八幡宮南側の谷を挟んだ、南側の東西にのびる尾根突端部に立地している。周辺には、西側に丸尾神社古墳、丸尾古墳、南側には鳥羽塚古墳、後山古墳、会所宮古墳、装飾が施されている法恩寺山古墳群等が存在し、盆地東部の古墳が最も集中している地域にあたる。調査は、墳丘規模、周溝の有無を確認するため、墳丘西側の尾根突端部側に1トレンチ、ほぼ対角線上の東側に2トレンチを設定した。

1トレンチ

墳丘西側の東西方向に長さ約12.0m、幅約1.5mで設定したトレンチである。掘り下げの結果、トレンチ東側から2.4mの所で墳端と思われる地山を削り出した立ち上がり、上部に2層の墳丘盛土を検出した。この地山の立ち上がりのラインは、やや西側に張り出していることから、トレンチ南側に造り出しの存在が考えられる。また、墳丘側から約6.3m地点では、幅0.74mに亘って整地層、トレンチ西端から約1.0m東側で近世段階の掘り込みが確認された。整地層からは中世の土師皿が出土していることから、中世段階で削平及び整地されたことが窺える。

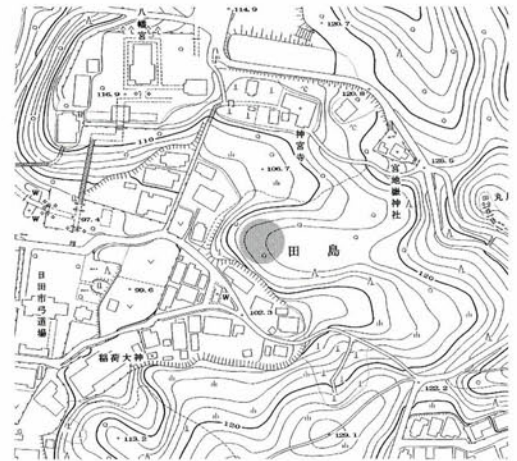
2トレンチ

墳丘東側の東西方向に長さ約12.0m、幅約1.0mで設定したトレンチである。調査の結果、墳丘側から約3.0mのところまで墳丘端部と思われる地山削り出しの落ち込みを検出した。この地山の落ち込みが墳丘端部であるかを確認するため、トレンチの北側に幅約1.7m、長さ約2.7mの拡張区を設定した。その結果、埴輪とともに人頭大の根石と拳大の葺き石が流れ込んだ状態で検出された。トレンチ東側では地山の立ち上がりが確認され、この落ち込みはトレンチ全体の観察から周溝ではなく、尾根と古墳を切断するための掘り切りであると考えられる。以上のことから、この地山の落ち込みは墳丘端部とみて差し支えないだろう。さらに落ち込みから墳丘側では、墳丘の盛土がわずかに確認され、拳大の葺き石や遺物が集中して出土した。本来、墳丘端部の落ち込みまで盛土があったものと思われるが、後世に削平されたのか現況は平坦になっている。

遺物については、多数の埴輪が出土した。しかし組成を見ると、2トレンチでは円筒埴輪が主なものに対し、1トレンチでは遺物量こそ少ないが、家形埴輪と思われる底部片、大刀形埴輪のマガリガネの部分などの形象埴輪も出土している。時期は古墳時代中期に収まると考えられるが、今後整理していく過程で詳細な検討をする必要がある。

今回の調査で、それぞれのトレンチから墳丘端部を確認した結果、径約38.0mの大型円墳であることが判明した。しかし、1トレンチ南側の造り出しの可能性、墳丘北側の端部、墳丘盛土状況等の把握はこれからの調査の課題である。

(下村智・玉川剛司・末國琢也・越知睦和)



遺跡位置図 (1/5,000)



古墳全景



1トレンチ完掘状況



2トレンチ完掘状況

町ノ坪遺跡は日田市北東部の大字求来里に所在し、有田川の支流である求来里川上流域沿いの狭い谷の河岸段丘上に立地する。

調査は県営圃場整備事業に伴い3ヶ所の地区を対象に行い、それぞれをA～C区と呼び、平成15年度にA・C区の調査を行い、本年度はB区の調査を実施した。

調査区の北側山裾は窪地状に下がっており、南側に遺構の密集が多く見られたことから、調査対象を南側に絞り、北側に関しては掘削が及ばないことからトレンチ調査を実施した。

検出された遺構は大きく2時期に分かれる。古墳時代では竪穴住居跡25軒以上、溝1条、土坑・柱穴多数で、古代～中世では溝跡1条、建物2棟、土坑・柱穴、北側のトレンチから水田層が検出された。各時期の遺構の概要は以下に述べるとおりである。

古墳時代の遺構は調査区中央に多く見られ、多数の竪穴住居跡が激しく密集・重複して作られており、この竪穴住居群よりやや東側に南北方向の溝跡が検出された。竪穴住居跡の構造は2種類に分かれ、重複関係の最も下より地床炉を持つ竪穴住居跡1軒が確認され、これ以外の竪穴住居跡はカマドを持っていた。

各遺構より多数の遺物の出土が見られた。現在整理の途中ではあるが、各遺構の時期は、地床炉を持つ竪穴住居跡が土師器群の特徴より概ね5世紀前半～中頃と最も古く、カマドを持つ竪穴住居跡のうち4軒ほどの住居跡が土師器群の特徴や朝倉古窯跡産と見られる須恵器甕などから5世紀中頃～後半、その他の竪穴住居跡群及び溝跡が須恵器の特徴などから6世紀前半から中頃に比定出来そうである。

古代～中世の遺構は調査区の北東側にかたまり、検出された遺構数も少なく、遺物も土師器片が少量出土したのみである。調査区北側の窪地からは中世期以降の水田層が確認され、また古墳時代以降調査区中央部には古代～中世の遺構が見られないことから、一帯に水田開発が及んだ可能性も想定される。

以上、調査の概略を述べた。今回の調査結果は、隣接するA・C区の調査結果とあわせ、この一帯に古墳時代中頃以降大きな集落跡が形成されたことを示している。しかも、日田市内では調査例の少ないカマド導入時期の住居構造の変化や集落変遷が、切り合い関係や出土遺物などから検証することが出来るとともに、今回の調査区やC区、金田遺跡などで確認された須恵器資料などにより、須恵器導入過程を検討する貴重な資料を得ることが出来た。

今回の調査区では古墳時代を中心とした集落が発見されたが、周辺のA、C区や金田遺跡、小西遺跡・求来里平島遺跡などからは弥生時代～中世・近世の集落などが発見されている。整理作業の進展や県営圃場整備に伴う周辺遺跡の調査が実施されるなかで、求来里川流域での時代毎の土地利用状況や開発過程などが明らかにされてゆくことが今後期待される。

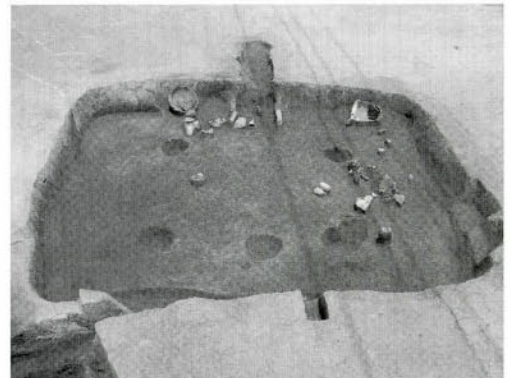
(渡邊)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (真上から)



古墳時代後期の竪穴住居跡



土器出土状況

4. 金田遺跡

— 県営圃場整備事業求来里地区に伴う発掘調査 —

金田遺跡は盆地東部の求来里川左岸の台地斜面に位置する。求来里川を挟んで両側に狭い沖積地が広がり、遺跡南西側には台地斜面が迫る。遺跡周辺では弥生時代から近世までの集落遺跡である町ノ坪遺跡や古墳時代中期の初現期のカマドを持つ集落が調査された求来里平島遺跡などがある。

調査では弥生時代中期から古墳時代の住居が約40軒確認された。

弥生時代の住居では、大型の円形住居2軒が確認され、いずれも数回の建て替えがあったことが判明した。また方形住居は15軒ほど確認されたが、これらの住居は円形住居を切っているものもあった。こうした状況と出土遺物から、円形住居が中期末、方形住居が後期のものであることが確認された。さらに弥生時代終末期から古墳時代初頭の小型器台が出土した住居も確認されている。

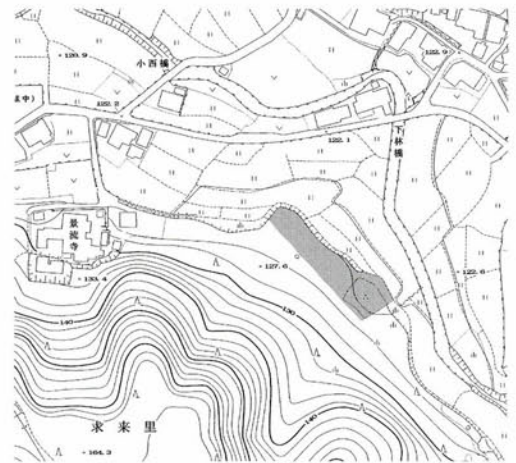
さらに古墳時代中期の住居はカマドを造りつけたものが数軒確認された。この時期のカマドをもった住居からは、朝鮮半島産と思われる須恵器高杯が出土しており、カマド導入期の集落として注目される。

また数軒ではあるが、古代の竪穴住居も確認されている。

この他、近世以降の溝が数条確認され、遺跡周辺の水田化に伴い、水路として利用されていたと考えられる。

以上、金田遺跡では弥生時代中期から古墳時代中期まで集落が連綿と続くことが確認された。弥生時代の住居では円形から方形への形態変遷を追うことができた。また、古墳時代、特に中期の住居が確認されたことは、朝鮮半島産と国産の須恵器の導入過程やカマド導入期の集落の一端を解明する上で重要な資料を提供したといえる。

さらに南側が台地斜面という立地条件は決して良好とは言えず、なぜこの場所に集落が形成され続けたのか、同時期における求来里川流域全体における集落立地との関係の中でその性格を検討していかなければならないだろう。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡全景 (北西から)



12号竪穴住居跡カマド完掘状況 (南東から)



35号竪穴住居跡完掘状況 (北東から)



12号竪穴住居跡須恵器高杯出土状況

両遺跡とも盆地東部の求来里川右岸に位置する。小西遺跡は求来里川を挟んで、金田遺跡のほぼ真北の台地裾部に位置する。一方、町ノ坪遺跡D区は沖積地に位置し、調査区の北東側に位置する同遺跡A・B・C区は、平成15・16年度に調査され、弥生時代から近世にいたる集落が確認された。また、町ノ坪遺跡D区の南約50mの位置には縄文時代後期の住居や古墳時代の集落が確認された求来里平島遺跡がある。

小西遺跡の調査では、弥生時代中期から後期の竪穴住居跡15軒以上、掘立柱建物1棟、土坑20基以上が確認された。竪穴住居跡の時期は古いもので弥生時代中期末の円形住居、最も新しいものでタタキ成形による長胴甕の発見から後期後半から終末と考えられる。また竪穴住居跡には近接して2間×2間の総柱の掘立柱建物が存在しており、該期の集落に伴う可能性が考えられる。

また、対岸の金田遺跡で確認された古墳時代中期の住居が存在することが想定されたが、発見には至らず、当該期の遺物の出土もなかった。

小西遺跡を含めた求来里川流域では少なくとも弥生時代中期以降、近世に至るまで継続的に集落が営まれていた様子が窺える。しかし、その集落の立地条件は台地斜面や裾部、沖積地と様々で、さらに、本遺跡において古墳時代の集落が確認されなかったように、それぞれの遺跡で集落が存在しない空白期があり、今後の調査で時期による集落変遷の過程が明らかになると思われる。

町ノ坪遺跡D区は今年度は表土剥ぎを行ったのみで、本格的な調査は次年度継続になるが、市道を挟んで約10mで北東側に隣接するB区では6世紀前半を中心として、5世紀前半から6世紀中頃にかけての集落が確認されており、本調査区でもその広がりが予想される。(若杉)



遺跡位置図 (1/8,000)



遺跡全景 (北から)



14号竪穴住居跡完掘状況



1号掘立柱建物完掘状況



14号竪穴住居跡遺物出土状況

遺跡は広域農道と市道の交差点付近を中心に広がり、広域農道建設に伴う調査では縄文時代後期の竪穴住居や古墳時代中期のカマド初現期の竪穴住居等が検出されている。今回の調査は昨年度からの継続で、広域農道の南を1区、北を2区とした。

1区では竪穴住居跡7軒、掘立柱建物跡3棟、竪穴状遺構1基、溝6条、土坑・ピット多数が検出された。竪穴住居跡は重複せず、住居間を区切るように溝が配置されている。遺構・遺物の残存状況は良好で、2号竪穴住居跡では多くの床面直上の遺物が出土するとともに、カマドが住居南壁から北壁に作り替えられた様子が明らかとなった。5・7号竪穴住居跡でもカマドの袖石や天井石などがよく残存していた。出土遺物からこれらは6世紀後半ごろの集落と考えられる。1区で特徴的なのは、求来里地区の他の遺跡では竪穴住居跡が重複し、同じ場所に継続して居住した様子が顕著であるのに対し、今回の調査区ではそれが見られないことである。今後周辺の調査が進むに従い、集落内の遺構配置の様相が明らかになるとと思われる。

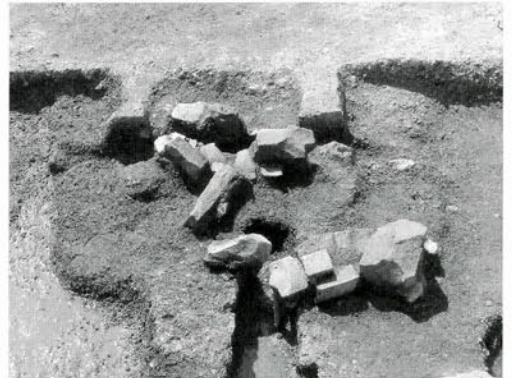
2区は道路分を隔てるのにも拘らず1区とは全く異なり、数枚の水田層の下には黒褐色～灰褐色の細かな粘質土が、幾層もの砂層を挟みながら2～3mにわたり堆積していた。湧水の影響でこの堆積層は水分を豊富に含み、草木や種子の遺存体が非常に多く残っていた。それとともに岩盤直上付近では古墳時代後期の須恵器片が、また上層では土師器小皿や青磁片など古代末～中世の遺物、曲物や杭などの木製品も数点出土した。土壌の自然化学分析と総合して環境の推移を推定すると、2区は古墳時代には求来里川の影響を受ける澱みのような湿地で、その後幾度も洪水など流水の作用を受けながら堆積が進み、中世ごろには湿田化されたか、または近辺の水田耕作土が流入した可能性が高いようで、現在のような乾田となったのは近世ごろと考えられる。(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (北から)



7号住居跡カマド検出状況



2区掘下げ状況



1号掘立柱建物跡

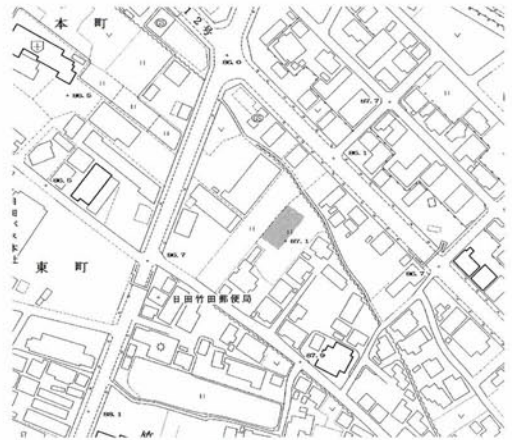
7. 入龍遺跡

遺跡は盆地南東部、筑後川に程近い標高約85mの沖積地上に位置する。周辺における過去数回の試掘調査ではいずれも氾濫原が検出されるのみであった。

土質が砂地であるため住居など遺構の存在ははっきりしなかったが、調査では弥生時代から古墳時代前期の遺物包含層と、焼土痕やピットが検出された。またミニチュア土器数点や倒置された甕など、祭祀行為を想像させる遺物も出土している。

今回の調査により、筑後川に近く不安定な立地で生活の場として適当でないと考えられてきたこのような大河川沿いの沖積地でも、わずかに高い場所では生活の痕跡が残されていることが確認できた。土壌分析の結果と総合すると、大小河川の氾濫を幾度となく受け、上流に存在したであろう集落などの遺物を包蔵しながら堆積し微高地へと変化するなかで、古墳時代前期には一帯が水田耕作可能な乾燥地となり、生活や祭祀が行われたが、砂地であるため耕作の基盤は脆弱で、生活地としては発展できず短期間のうちに終焉を迎えたと推定される。(行時)

—若宮公民館建設に伴う発掘調査—



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (北から)

8. 中尾原遺跡

遺跡は盆地東部、標高約160mの池辺原と呼ばれる台地上に位置し、盆地内から遺跡の多い有田・求来里地区へ通じる分岐点にあたる。

調査では縄文時代の集石1基と土坑1基、近世以降の溝1条と土坑2基が検出され、調査区の一部で縄文時代の遺物包含層も確認された。

集石は構成する礫のほとんどが赤化しており集石炉と考えられるが、礫の集中度は低い。また周辺に赤化礫が散在していることから、他にも集石が存在していたことがうかがえる。

近世以降の溝は断面皿状を呈して浅く、台地端まで伸びるものの建物等を伴わないことから、畑地の境界溝と考えられる。溝付近にある土坑2基も農作業に関連するものであろう。

今回の調査区では畑地化により大規模に土地改良された結果辛うじて残った縄文時代と近世以降のわずかな遺構しか検出されなかったが、事前調査では付近の畑地で弥生土器や土師器などが採集されていることを考えると、この台地上にはこれらの時期を含む遺跡が広がっていると推定される。(行時)

—水道施設建設に伴う発掘調査—



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景 (東から)

9. 大波羅遺跡3次

—マンション建設に伴う発掘調査—

遺跡は日田盆地東部の標高約89mの沖積地に位置しており、今回の3次調査地点は市役所のすぐ東側にあたる。調査では掘立柱建物1棟、土坑1基、溝1条、ピット多数が確認できた。

それぞれの遺構の年代については、年代を特定できる遺物の出土量は少なかったが、遺構の切り合い関係などから、掘立柱建物が古代から中世期、土坑が中世期、溝が弥生時代から古代に比定され、ここには主に古代～中世期にかけての集落が存在していたものと推定される。

ここ数年、この遺跡周辺では数次の発掘調査が行なわれ、なかでも3次調査地点の東側にあたる1次調査地点では古代の墨書土器や瓦などの遺物を含む遺構が発見されるなど、官衙や寺院に關係する施設の存在が想定されている。遺跡周辺は古代日田の豪族日下部氏が本拠としていた鞍編郷に属することから、当時の様子を考える上でも好資料を得ることができた。

なお、詳細については、既刊の『大波羅遺跡3次』発掘調査報告書を参照されたい。(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景

10. 慈眼山瀬戸口遺跡

—宅地造成に伴う発掘調査—

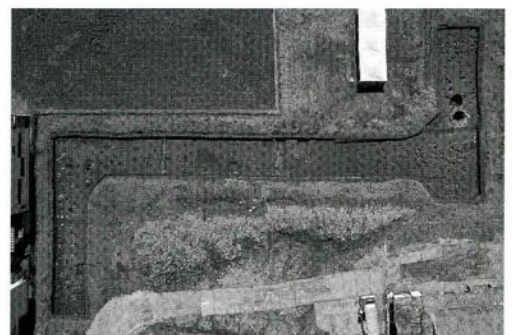
遺跡は日田盆地内のやや東側の標高約86mの沖積地に位置しており、調査区のすぐ北側には大蔵氏の居城跡である慈眼山がみられる。

調査区からは井戸2基、溝6条、土壇、柱穴多数、整地層が確認された。特筆されるのは建物に使用された柱木や石組の井戸跡、区画と排水に使用されたと考えられる溝跡などが見られるなど多様な構成を持つ集落の様相が明らかとなったことである。さらに、遺構からは多数の土器類とともに、古銭や瓦などが発見されこの遺跡が一般の集落とは異なる可能性が考えられる。また、この集落の廃絶後には、数度に渡り整地が行われており、この場所が集落域として強く意識されていたことを物語っており、整地層には大量の焼土とともに多数の遺物が含まれていた。この集落と整地の時期は出土した土師器類から、15世紀代と考えられる。

さて、この一帯は宅地造成に伴う開発が増加している地域であり、これまでの調査結果から慈眼山周辺には中世期の集落跡が広がっていたことが明らかとなっている。今回の調査で確認された遺構群は15世紀代のもので、大蔵氏の断絶時期前後と大きくかわる貴重な資料を得ることができた。やや離れた1次の調査では同様の時期の集落施設などが確認されており、今後の周辺調査の進展により当時の社会の様子が明らかになってゆくことが期待される。(渡邊)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区近景

3) 試掘調査・立会調査・照会の概要

表3 試掘・立会調査一覧表

面積単位：m²

| 番号 | 遺跡名 | 主体 | 事業目的 | 調査場所 | 開発面積 | 調査面積 | 調査期間 | 調査区分 | 遺跡の時代 | 検出遺構 | 出土遺物 | 処理 | 詳細地図番号 |
|----|------------|----|---------|------------------|----------|-------|-----------|------|----------|---------|------------|---------|------------|
| 12 | 馬形遺跡 | 公共 | 道路拡幅 | 求里字鳥帽子1112番地 | 179 | 7 | 0423 | 試掘 | — | なし | 弥生・古墳・土師器 | 工事実施 | 池辺34 |
| 13 | 日田条里ノ元地区 | 民間 | 分譲住宅建設 | 渡里字葉ノ元101番地6他 | 2,883 | 30 | 0428 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 上手48 |
| 14 | 大肥条里堂迫地区 | 民間 | 宅地造成 | 大肥字堂迫2306 | 370 | 11 | 0430 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 森林基本175-11 |
| 15 | 日田条里東土井ノ内 | 公共 | 小学校建設 | 北友田1丁目1133-2 | 822 | 20 | 0430 | 試掘 | 弥生・古墳・中世 | なし | 弥生土器・土師器 | 工事実施 | 小迫44 |
| 16 | 大波羅遺跡 | 公共 | 道路改良 | 田島2丁目80-4番地他 | 200 | 24 | 0518 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 田島62 |
| 17 | 大宮遺跡 | 民間 | 分譲住宅建設 | 高瀬字手崎1343番地1 | 1,642 | 11 | 0524 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 高瀬17 |
| 18 | 長者原遺跡隣接地 | 民間 | 宅地造成 | 石井字瀬戸455番地4 | 306 | 12 | 0524 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 石井16 |
| 19 | 日隈城隣接地 | 公共 | 公園整備 | 庄手字上り口162-1他 | 11,000 | 10 | 0524 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 玉川62 |
| 20 | 入龍遺跡 | 公共 | 公民館建設 | 竹田字入龍624-1 | 1,641 | 10 | 0604 | 試掘 | 弥生・古墳 | 包含層 | 弥生土器・土師器片 | 発掘調査実施 | 竹田31 |
| 21 | 高瀬条里カジャノ地区 | 公共 | 農村公園整備 | 高瀬字カジャノ778番地他 | 4,138 | 20 | 0609-0614 | 試掘 | 弥生・古墳・中世 | 土坑・柱穴 | 弥生土器・土師器片 | 盛土による保存 | 竹田29 |
| 22 | 日田条里大道町地区 | 民間 | 土地売却 | 渡里字大道町53番地5他 | 13,435 | 50 | 0629 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 上手49 |
| 23 | 慈眼山瀬戸口遺跡 | 民間 | 分譲住宅建設 | 上城内町435-1 | 2,727 | 30 | 0629 | 試掘 | 中世 | 溝・土坑・柱穴 | 土師器 | 発掘調査実施 | 上手51 |
| 24 | 谷ノ久保遺跡 | 公共 | 農業施設建設 | 三和字佛迫1895番地他 | 15,000 | 135 | 0721 | 試掘 | — | なし | 須恵器1点 | 工事実施 | 朝日20 |
| 25 | 日田条里上手地区 | 民間 | 医療施設建設 | 西有田字上手10-1他 | 2,500 | 23 | 0803 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 上手50 |
| 26 | 日田条里岩ノ下地区 | 民間 | 納骨堂建設 | 渡里字岩ノ下1259-1 | 71 | 9 | 0803 | 試掘 | 弥生～中世 | 土坑・柱穴 | 土器片 | 盛土による保存 | 小迫49 |
| 27 | 宮ノ下遺跡 | 民間 | 資材置場建設 | 有田字宮ノ下415-1 | 2,243 | 38 | 0820 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 有田27 |
| 28 | 小迫辻原遺跡隣接地 | 民間 | 宅地造成 | 小迫字左京平1119-2 | 192 | 15 | 0909-0913 | 試掘 | 古墳～古代 | 包含層 | 土師器・須恵器 | 盛土による保存 | 小迫50 |
| 29 | 須ノ原遺跡 | 民間 | 酪農舎建設 | 東有田鳥越291-3 | 2,900 | 120 | 1012 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 東有田2 |
| 30 | 日田条里千鉢地区 | 公共 | 公民館建設 | 淡窓町115の1番地 | 2,760 | 60 | 1018 | 試掘 | 古墳～中世 | 柱穴・溝 | 土師器・須恵器・青磁 | 次年度以降調査 | 田島70 |
| 31 | 三和教田遺跡 | 民間 | アパート建設 | 三和字長迫742番1他 | 2,571 | 60 | 1101 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 三和40 |
| 32 | 薬師前遺跡隣接 | 公共 | 農業基盤整備 | 小野字三河 | 70,000 | 1,067 | 1109-1117 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 三河1、竜崎山1 |
| 33 | 日田条里千鉢地区 | 民間 | 宅地造成 | 淡窓1丁目113-1、113-8 | 256 | 8 | 1209 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 田島57 |
| 34 | 日田条里上深地区 | 民間 | マンション建設 | 中央1丁目404、408番地 | 1,501 | 15 | 1221 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 田島58 |
| 35 | 日田条里隣接地 | 民間 | 宅地造成 | 十二町字馬場109-1 | 283 | 10 | 0124 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 玉川65 |
| 36 | 日田条里一丁目地区 | 民間 | 分譲住宅建設 | 日田市大字港町509-1ほか | 3,030 | 45 | 0214 | 試掘 | 弥生時代 | 土坑・溝 | 弥生土器 | 次年度以降調査 | 玉川66 |
| 37 | 日田条里熊取地区 | 民間 | 分譲住宅建設 | 渡里201ほか | 1,528.87 | 30 | 0222 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 上手60 |
| 38 | 日田条里隣接地 | 民間 | 事務所建設 | 十二町字馬場167番地1 | 930 | 22.5 | 0302 | 立会 | — | なし | なし | 工事実施 | 玉川67 |
| 39 | 薬師前遺跡隣接 | 公共 | 農業基盤整備 | 小野下小竹 | 30,000 | 34 | 0318-0325 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | — |
| 40 | 大波羅遺跡 | 公共 | 道路改良 | 北豆田 | 163 | 5 | 0318 | 試掘 | — | なし | 青磁1点 | 工事実施 | 田島71 |
| 41 | 朝日ヶ丘遺跡 | 公共 | 市営住宅建設 | 小迫字中根の上438番地2 | 5,571 | 52.5 | 0329-0330 | 試掘 | — | なし | なし | 工事実施 | 小迫54 |

表4 書類審査のみの照会一覧表

面積単位：m²

| 受付月日 | 事業主体 | 事業目的 | 開発場所 | 開発面積 | 詳細地図番号 | 備考 |
|------|------|------------|---------------------|--------|--------|---------------------------|
| 0402 | 民間 | 資材置場造成 | 小迫字大茶園42ほか | 3,503 | 小迫43 | |
| 0427 | 民間 | 駐車場用地造成 | 石井字宮田285-27 | 29 | 石井15 | |
| 0511 | 民間 | 貸店舗建設 | 渡里字下瀬井手94番地2ほか | 1,752 | 上手47 | |
| 0525 | 民間 | 資材置場造成 | 竹田字鬼塚358-4、359-1 | 1,491 | 竹田30 | |
| 0528 | 民間 | 農地造成工事 | 鶴河内字釜土1123-1、1124-1 | 2,164 | 5-1 | |
| 0604 | 民間 | 老人福祉施設建設 | 日高字上井手1471-1 | 1,921 | 古金17 | |
| 0616 | 民間 | 公共住宅 | 田島1丁目553-3 | 852 | 田島63 | |
| 0706 | 民間 | 宅地造成 | 田島1丁目553-6 | 304 | 田島64 | |
| 0722 | 民間 | 墓地造成 | 渡里字後迫410-1ほか | — | 上手61 | 前年度に照会文書提出、無許にて即造成のため指導実施 |
| 0812 | 民間 | 分譲住宅造成 | 庄手字堤の外646番地の2ほか | 1,163 | 上野18 | |
| 0820 | 民間 | 宅地造成 | 北豆田字ヤノム子1733-22番地ほか | 374 | 田島65 | |
| 0909 | 民間 | 分譲住宅造成 | 友田字1179ほか | 1,400 | 玉川64 | |
| 0917 | 民間 | 資材置場造成 | 高瀬622番地 | 6,421 | 串川5 | |
| 0929 | 民間 | 店舗建設 | 元町139 | 167 | 田島66 | |
| 1008 | 民間 | 堆肥処理施設建設 | 有田字燕正1377 | 1,115 | 有田28 | |
| 1021 | 民間 | 携帯電話基地局建設 | 友田字下長淵686-1 | 200 | 北友田26 | |
| 1117 | 民間 | 自動車修理工場建設 | 日高字東寺413-1 | 741 | 古金18 | |
| 1124 | 民間 | 資材置場造成 | 北豆田字戸頃平837-1ほか | 1,657 | 上手58 | |
| 1222 | 民間 | 公園トイレ、看板設置 | 川下699番地11 | 154 | 森189-1 | |
| 1222 | 公共 | 大型店舗建設 | 高瀬字土ノ迫2122-1 | 70,000 | 上野19 | 要予備調査、次年度以降協議 |
| 0114 | 民間 | マンション建設 | 竹田新町1119-1、1119-2 | 1,136 | 竹田32 | |
| 0118 | 民間 | 宅地造成 | 小迫278-3 | 252 | 小迫53 | |
| 0118 | 民間 | 宅地造成 | 渡里1001-54 | 221 | 上手59 | |
| 0210 | 民間 | 分譲住宅造成 | 日高字取所816番地1 | 1,818 | 竹田33 | 要予備調査、次年度以降協議 |
| 0222 | 民間 | 個人住宅建設 | 高瀬字西ノソノ494番地ほか | — | 竹田34 | 要予備調査、次年度以降協議 |
| 0303 | 民間 | 分譲住宅造成 | 日高字中磯1601-1 | 1,609 | 古金19 | 要予備調査、次年度以降協議 |
| 0311 | 民間 | 資材置場造成 | 本町618-1、619 | 1,943 | 竹田20 | 要予備調査、次年度以降協議 |
| 0323 | 民間 | 堆肥処理施設建設 | 有田字原1863番地2 | 1,269 | 有田32 | 要予備調査、次年度以降協議 |

II 平成16年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成14年度の埋蔵文化財センターの開館を契機に、平成15年度より5年間を1つの区切りに、埋蔵文化財センター運営事業を行っており、今年度はその3年目として発掘調査速報展を開催したほか、前年度に引き続いて、市民を対象に考古学講座などの普及活動にも力を入れた。

1. 平成15年度埋蔵文化財発掘調査速報展（5月17日～6月25日）

平成15年度に市内で行った発掘調査の成果を市民にいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市内を中心に470人の来館者があった。

埋蔵文化財センター見学者数

| 月 | 総見学者数 | 団体 | 個人 | 特別展 |
|-----|-------|-----|-----|---------------------|
| 4月 | 18 | 0 | 18 | |
| 5月 | 236 | 90 | 146 | 速報展(5/17～6/25) 470人 |
| 6月 | 238 | 202 | 36 | |
| 7月 | 44 | 37 | 7 | |
| 8月 | 16 | 0 | 16 | |
| 9月 | 24 | 20 | 4 | |
| 10月 | 42 | 31 | 11 | |
| 11月 | 7 | 0 | 7 | |
| 12月 | 2 | 0 | 2 | |
| 1月 | 12 | 12 | 0 | |
| 2月 | 48 | 48 | 0 | |
| 3月 | 13 | 8 | 5 | |
| 合計 | 700 | 448 | 252 | |

主な来訪団体：市立桂林小学校（48名：センター見学）、小野小学校（15名：センター見学）、夜明小学校（10名：センター見学）、市立日隈小学校（46名：センター見学）、市立成宜小学校（91名：センター見学）、市立有田小学校（57名：センター見学）、三瀬町郷土研究会（19名：センター見学）、西有田公民館わんぱく教室（11名：センター見学）、朝日老人クラブ（48名：センター見学）、公民館長会（12名：センター見学）、光岡公民館婦人セミナー（12名：センター見学）、大山中学校職場見学（5名：センター見学）



常設展示風景



速報展見学風景

2. 考古学講座「タイムトリップひたvol.2」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招待し、全8回の講座を実施した。

| 月日 | 回数 | 内 容 | 講 師 | 受講人数 |
|------|-----|--------------------------|----------------------|------|
| 0623 | 第1講 | 土偶に込められた祈り | 大分県教育委員会 職員 宮内克巳氏 | 28 |
| 0707 | 第2講 | 縄文土器の世界 | 大分県教育委員会 職員 坂本嘉弘氏 | 33 |
| 0721 | 第3講 | 平成15年度発掘調査報告① 古屋敷遺跡 | 渡邊隆行 | 24 |
| | | 平成15年度発掘調査報告② 高野遺跡 | 若杉竜太 | |
| 0804 | 第4講 | 海を渡った石器 | 別府大学非常勤講師 清水宗昭 | 27 |
| 0825 | 第5講 | 考古学の魅力①土器づくりの楽しみ方 | 中川洋一氏 | 24 |
| | | 考古学の魅力②遺跡での土器・石器の採集の楽しみ方 | 原田勝宏氏 | |
| 0908 | 第6講 | 平成15年度発掘調査報告③ 上野第2遺跡 | 行時桂子 | 27 |
| | | 平成15年度発掘調査報告④ 穴観音古墳 | 土居和章 | |
| 0922 | 第7講 | 弥生人が使った木製道具 | 福岡市教育委員会 職員 山口讓治氏 | 22 |
| 1006 | 第8講 | 古代人骨は語る | 九州大学研究員 舟橋京子氏 | 24 |

※申込み人数 39人



考古学講座講義風景

3. 考古体験・体験教室・出張展示

古代人の知恵や技術に触れ、埋蔵文化財への関心を楽しみながら深めてもらうための機会を提供する目的から、「火燻し体験・発掘体験・整理作業体験・展示見学・考古学のはなし」などの体験メニューを各団体からの申し込みにより実施すると共に、市内のふるさと祭りに併せてその地区の調査成果の出張展示を実施した。



出張展示（夜明地区）

| 月日 | 協力・協賛先 | 内 容 | 場 所 | 参加人数 |
|------|--------------|---------------|-----------|------|
| 0527 | 桂林小学校 | 展示見学、火燻し体験 | 埋蔵文化財センター | 48 |
| 0528 | 日隈小学校 | 展示見学、発掘現場見学 | 町ノ坪遺跡B区 | 46 |
| 0615 | 小野小学校 | 展示見学、発掘・火燻し体験 | 町ノ坪遺跡B区 | 15 |
| 0615 | 咸宜小学校 | 展示見学 | 埋蔵文化財センター | 91 |
| 0617 | 夜明小学校 | 展示見学、火燻し体験 | 埋蔵文化財センター | 10 |
| 0617 | 有田小学校 | 展示見学、発掘・火燻し体験 | 金田遺跡 | 57 |
| 0619 | 西有田公民館わんぱく教室 | 展示見学、発掘体験 | 金田遺跡 | 11 |
| 1121 | 夜明地区ふるさと祭り | 出張展示 | 夜明小学校 | 192 |
| 1225 | 西有田公民館わんぱく教室 | 火燻し体験 | 西有田公民館 | 15 |
| 合 計 | | | | 485 |



火燻し体験（桂林小学校）



発掘現場見学（日隈小学校）



発掘体験（有田小学校）

2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

遺跡の調査成果を広く一般市民に公開するため、現地説明会や講師の派遣、調査報告書の作成を実施した。

1. 求来里現地説明会

町ノ坪遺跡および金田遺跡の発掘調査の成果を広く一般に公開する目的で、平成16年7月25日に現地説明会を開催した。厳しい暑さの中約50名の参加があった。当日は現地で担当者が解説を行い、あわせて出土遺物の展示と体験発掘を行った。



現地説明会風景

2. 講師派遣・講師依頼

講師の依頼件数は考古学講座に伴う7件、派遣は2件であった。

| 月日 | 区分 | 派遣・依頼先 | 内 容 | 講 師 |
|------|----|-----------------|----------------------------|------------------|
| 0623 | 依頼 | 大分県立歴史博物館 | 考古学講座第1講『土偶に込められた祈り』 | 大分県教育委員会職員 宮内克巳氏 |
| 0707 | 依頼 | 大分県教育庁埋蔵文化財センター | 考古学講座第2講『縄文土器の世界』 | 大分県教育委員会職員 坂本嘉弘氏 |
| 0717 | 派遣 | 大分県考古学会 | 大肥条里大肥地区出土の弥生時代の木器について | 渡邊隆行 |
| 0804 | 依頼 | 別府大学 | 考古学講座第4講『海を渡った石器』 | 別府大学非常勤講師 清水宗昭氏 |
| 0825 | 依頼 | 日田考古学同好会 | 考古学講座第5講『考古学の魅力①土器作りの楽しみ方』 | 中川洋一氏 |
| 0825 | 依頼 | 日田考古学同好会 | 考古学講座第5講『考古学の魅力①土器作りの楽しみ方』 | 原田勝宏氏 |
| 0922 | 依頼 | 福岡市教育委員会 | 考古学講座第7講『弥生人が使った木製道具』 | 福岡市教育委員会職員 山口譲治氏 |
| 1006 | 依頼 | 九州大学 | 考古学講座第8講『古代人骨は語る』 | 九州大学研究員 舟橋京子氏 |
| 0226 | 派遣 | 日田考古学同好会 | 平成16年度の発掘調査報告 | 土居和章・行時桂子・若杉竜太 |

3. 刊行物

埋蔵文化財に関わる刊行物の今年度の発行件数は年報1件、調査報告書8件であった。

| | 書名 | 巻次 | 体裁 | 総頁 | 内 容 |
|---|------------------------------|----|----|-----|---|
| 1 | 平成15年度(2003年度) 日田市埋蔵文化財年報 | - | A4 | 17 | 平成15年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及および啓発事業などを所収。 |
| 2 | 葛原遺跡Ⅱ | 53 | A4 | 33 | ニッカウイスキー工場建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。古墳時代の竪穴住居跡・建物跡を所収。 |
| 3 | 大波羅遺跡3次 | 54 | A4 | 9 | マンション建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。古代～中世の掘立柱建物跡などを所収。 |
| 4 | 穴観音古墳Ⅱ | 55 | A4 | 42 | 国指定史跡の同古墳の範囲確認に伴う埋蔵文化財調査の成果。周溝の形態が判明。須恵器・土師器などを所収。 |
| 5 | 古屋敷遺跡 | 56 | A4 | 82 | 圃場整備に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の包含層、中世の建物を所収。 |
| 6 | 吹上Ⅲ | 57 | A4 | 41 | 範囲内容確認調査に伴う7、8次の埋蔵文化財調査の成果。弥生時代の竪穴住居、土坑を所収。 |
| 7 | 有田塚ヶ原遺跡・クビリ遺跡 | 58 | A4 | 54 | ウッドコンビナート建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の落とし穴状遺構、古代の包含層を所収。 |
| 8 | 中尾原遺跡 | 59 | A4 | 10 | 水道施設建設に伴う埋蔵文化財調査の成果。縄文時代の集石などを所収。 |
| 9 | 朝日天神山古墳群 | 60 | A4 | 224 | 県指定史跡朝日天神山古墳の内容確認に伴う5次にわたる埋蔵文化財調査の成果。古墳の規模が判明。須恵器等を所収。 |

3) 文化財の指定

平成13・15年度の調査成果に基づき穴観音古墳の周溝部分を含めた範囲の追加指定が行われた。

穴観音古墳 (国指定史跡追加指定—平成17年3月2日告示)

古墳は大字内河野字倉園の原台地と呼ばれる台地の北部に位置する装飾古墳である。主体部は複室の横穴式石室で玄室奥壁・右側壁、前室両側壁に赤・緑色を使って、幾何学文、円文、人物、鳥、舟が描かれている。こうした装飾は古く知られ、昭和8年に残存する墳丘部分(直径約12m)が国の史跡に指定されている。その後、墳丘保護のための覆い屋設置や日下八光先生による壁画の模写など古墳の保護・保存措置が図られてきたが、古墳周辺では近年、宅地造成等の開発が多く、古墳近接地まで開発の波が押し寄せる恐れが出てきた。こうしたことから、平成13、15年度に周溝の有無、古墳の規模を確認する目的で調査を行った。その結果、幅1.5m前後の周溝が確認され、墳丘規模が直径約23mになることが判明した。陸橋付近の周溝内からは多くの遺物が出土し、これらから古墳の築造時期は6世紀末～7世紀初頭と推定され、前方後円墳築造停止後における日田盆地の首長墓の1つとみられる重要な古墳である。



穴観音古墳全景

なお、追加指定面積は3678.95㎡で、既指定面積104㎡を加えて、合計3782.95㎡となった。指定地番は以下のとおりである。大字内河野字倉園5番地の一部、8番地、10番地の一部、およびこれに含まれる里道(既指定地は同9番地)

4) その他

今年度、埋蔵文化財関連資料の貸出は8件、借用1件、寄贈1件であった。

1. 資料借用・貸出

| 受付月日 | 区分 | 資 料 名 | 借用・貸出先 | 目的 |
|------|----|-----------------------------------|-----------------|------------|
| 0419 | 貸出 | 後迫遺跡・三和教田遺跡・小迫辻原遺跡出土土器、石器 | 個人 | 講演資料 |
| 0427 | 貸出 | 後迫遺跡出土土器・平野遺跡採集三稜尖頭器 | 個人 | 講演資料 |
| 0512 | 貸出 | 小迫辻原遺跡2号居館写真(カラーネガ) 萩鶴遺跡鍛冶・祭祀遺構鉄廷 | (株)小学館 | 書籍掲載 |
| 0512 | 借用 | 広瀬淡窓使用硯 | 広瀬資料館 | 展示 |
| 0524 | 貸出 | 平島横穴墓群出土須恵器・土師器 | 日田高校 | 講演資料 |
| 0630 | 貸出 | 朝日天神山古墳群出土大型平底壺写真(ポジ) | (株)山川出版社 | 書籍掲載 |
| 0818 | 貸出 | 小迫辻原遺跡空撮写真(ポジ) | 松山市考古館 | 展示および図録掲載 |
| 0901 | 貸出 | 吹上遺跡出土甕棺墓・鉄剣・貝輪(ポジ) | (株)小学館 | 書籍掲載 |
| 0922 | 貸出 | 三稜尖頭器ほか旧石器資料 | 別府大学 | 講演資料 |
| 1227 | 貸出 | 吹上遺跡出土甕棺墓・貝輪写真(ポジ) | 日本放送出版協会 | 書籍掲載 |
| 0115 | 貸出 | 小迫辻原遺跡空中写真 | 大分県教育庁埋蔵文化財センター | 番組制作事前検討資料 |

2. 資料寄託・寄贈

| 受付月日 | 区分 | 資 料 名 | 数量 | 寄託・寄贈者 | 備 考 |
|------|----|-----------------|----|--------|-----|
| 1222 | 寄贈 | ガランドヤ古墳周辺採集磨製石斧 | 1 | 個人 | |

III 受領図書一覧

宮城県

(株)創重舎/白い国の詩572~583号(2004)

栃木県

(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化センター/栃木県埋蔵文化センター山通信 やまかいどう 36~J 38(2004~2005)

千葉県

国立歴史民俗博物館/縄文時代・弥生時代の高精度年代体系の構築 (2004)

東京都

明治大学博物館事務局/明治大学博物館研究報告第9号 (2004) 小学館/考古資料大観4・10・12 弥生・古墳時代 (2004) 台東区文化財調査区/西町遺跡 (2001) 上野忍岡遺跡群 国立国会図書館支部上野図書館地点II (C D R O M) (2001) 雷門遺跡 (2002) 国際縄文学会/国際縄文協会紀要第1号(2004) パリノ・サーヴェイ(株)/PALYNO4 (2001) 港区立港郷土資料館/港区立郷土資料館だより第54~55号(2004~2005) 港区立港郷土資料館へ行ってみよう 第1~2号(2004~2005) 港区の江戸時代I - 伊万里・鍋島・薩摩 - (2004) 屋鋪五方相對替一件(2005) 永井荷風 港区人物誌(2005)

神奈川県

川崎市教育委員会/川崎市文化財調査集録38・39(2003~2004)

長野県

更埴市教育委員会/更埴市埋蔵文化財調査報告書平成13・14・15年度(2003~2004) 屋代清水遺跡II (2003) 更埴市の指定文化財(2003) 千曲市教育委員会/更埴市水田址七ツ石地点(2004) 長野県千曲市遺跡分布図(2003) 上山田町教育委員会/御屋敷遺跡(2002) 長野市教育委員会/八幡田沖遺跡 稲葉南保住宅造成事業地点(1995) 四ッ屋遺跡II(2002) 浅川扇状地遺跡群浅川端遺跡(2) 安茂里遺跡群差出遺跡 三合塚古墳 石川糸里遺跡(2003) 篠ノ井南条遺跡・辰巳池遺跡・本郷前遺跡(2004) 天神木遺跡・桶爪遺跡・権現堂遺跡(2004) 長野市埋蔵文化財センター所報 15(2004) 長野県埋蔵文化財センター/長野県埋蔵文化財センター年報19(2003~2004) 上山田市教育委員会/上山市の年表付索引(2004) 近世の交通と上田宿 上山市誌歴史編(8)(2003) 近世の農民生活と騒動 上山市誌歴史編(9)(2003) 近世の庶民文化 上山市誌歴史編(10)(2004) 歴史編史料(3)(2004) 変わる人や物の流れ 上山市誌近現代編(4)(2003) 近現代編 資料(2・3)(2003) 学校教育のあゆみ 上山市誌近現代編(8)(2003) 総説 上田の歴史 上山市誌別巻(1)(2004)

石川県

金沢大学文学部考古学研究室/金沢大学考古学紀要VOL. 27(2004)

福井県

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター/年報13 平成9年度(1999) 年報14 平成10年度(2000) 年報15 平成11年度(2001) 年報16 平成12年度(2002) 常安王神の森遺跡(1997) 東荒井遺跡(1998) 大味地区遺跡群(1999) 大園東遺跡・大味上遺跡(1999) 袖高林古墳群(1999) 小倉石町遺跡(2001) 大園西遺跡(2001) 森谷古墳群(2001) 福井城跡(2001) 糞置遺跡(2001) 今市遺跡(豆田地区) (2001) 右近次郎西川遺跡(2002) 小福津遺跡(2002) 城山古墳群(2002) 西長田遺跡(2002) 外街道遺跡(2002) 中丁遺跡(2003) 本郷北遺跡(2003) 志田神田遺跡(2003) 田島元山谷遺跡(2003) 女形谷長畝遺跡(2003) 興道寺遺跡(2003) 福井県教育庁埋蔵文化財センター所報5 東下野江口遺跡(1998)

静岡県

袋井市教育委員会/愛野向山「遺跡(2004) 地蔵ヶ谷古墳群・横穴群I・II(2004) 掛之上遺跡 (13・16・17)・(14・15・18・19)本文編・写真図版編(2003)

愛知県

名古屋大学文学部考古学研究室/名古屋大学文学部研究論集149 考古学抜刷第19集(2004)

三重県

三重県埋蔵文化財センター/三重県埋蔵文化財センター通信「みえ」第37号(2004)

滋賀県

楽浪文化財修理所/文化財修理報告書Vol.5 (2004) 能登川町教育委員会/能登川町埋蔵文化財調査報告書第4~57集(1986~2004) 事業・活動報告1998~2002 (平成11~14年度年報)

京都府

同志社大学歴史資料館/同志社大学歴史資料館館報第7号(2003年度) (2004) (財)京都府埋蔵文化財調査研究センター/京都府埋蔵文化財情報第94号(2004)

大阪府

松原市教育委員会地域教育振興課/たじひのひより 松原市文化財情報誌 3(2004) 武田 篤彦/わたしがめくった装飾古墳(2004) 大谷女子大学文化財学会/文化財研究第3・4号(2003~2004) 大谷女子大学博物館/牛頭・本堂I・II(2003~2004) 博物館だより 94(2004) 高槻市教育委員会/嶋上遺跡群28(2004) 史跡・今城塚古墳(2004) 堺市立埋蔵文化財センター/堺埋蔵文化財だより(2004) 堺市教育委員会/堺市文化財調査概要報告第102~104冊(2004)

兵庫県

大手前大学史学研究所/大手前大学史学研究所紀要第3・4号(2003~2004)

奈良県

奈良市教育委員会/平城京東市跡推定地の調査I・III・IV・V・VII・VIII・IX・X・XI(1983~1998) 奈良市埋蔵文化財調査概要報告書 平成3・5・7・8・9・10年度(1992~2000) 奈良市埋蔵文化財調査センター紀要 1990~1999(1991~2000) 平城京左京 (外京) 五条五坊七・十坪発掘調査概要報告(1982) 森羅の都慶州と平城京 第5回平城京展、古代の大和 第6回平城京展 平城京展第8・13回会(1990・1995) 平城京を築いた人びと 第10回平城京展 そのくらしを訪ねて(1992) 平城京 復元模型のしおり 帝塚山大学考古学研究所/帝塚山大学考古学研究所研究報告・(2003) (財)元興寺文化財研究所/元興寺文化財研究 84~85(2004) (財)桜井市文化財協会/桜井市内埋蔵文化財 1997・2000~2003年度 発掘調査報告書2(1998~2004) 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター/埋蔵文化財ニュース 114~117(2004) 奈良文化財研究所 古代の官衙遺跡「遺物・遺跡編(2004) 奈良大学文学部文化財学科/文化財学報第22(2004) 奈良県立橿原考古学研究所/寺口千塚古墳群II(2003) 多遺跡(2004) 兵家清水・菰谷古墳群(2004) 荒坂遺跡(第5次調査)(2004) 桜井茶臼山古墳群確認調査報告(2004) 東武田遺跡(2004) 巨勢寺(2004) 橿原考古学研究所紀要考古学論叢第27冊(2004) 青陵第112・113号(2004) 鏡範研究I(2004) 橿原考古学研究所年報30 平成15年度(2004)

和歌山県

和歌山県紀伊風土記の丘/紀伊風土記の丘年表 第24~30号(1997) 特別展 紀南の古墳文化(1997) 特別展 木製品と人々のくらし(1998) 特別展 きのくにの銅鐸(1999) 特別 地びき網漁の生活 日高町産海岸(2000) 漆器の黒江(2001) 紙すきの山里 紀州の和紙と紙の民具(2002) 紀州・移動する職人たち 鍛冶・木地・炭焼き(2003)

島根県

出雲市教育委員会/上堀治築山古墳(2004) 出雲市埋蔵文化財発掘調査報告書第14集(2004) 角田遺跡第3次発掘調査報告書(2004) 島根県教育委員会/石見銀山(2004) 五反配遺跡(2004) 青木遺跡 (中近世編) (2004) 史跡出雲国府跡(2004) 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター年報12 平成15年度(2004) 島根県古代文化センター・島根県教育庁埋蔵文化財センター/青銅器の同位体調査報告書I - 武器形青銅器 - (2004) 中野美保遺跡(2004) 大津町北遺跡・中野清水遺跡(2004) 横ヶ埵遺跡(2004) 家ノ脇 遺跡・原田遺跡1区・前田遺跡4区(2004) 東林木バイパス発掘調査概報(2004) オロチのいぶき(2004) 川津バイパス発掘だより 川津バイパス発掘調査速報 I (2004)

岡山県

津山市教育委員会/堀坂地区試掘調査報告書(2004) 年報「津山弥生の里」第11号(平成14年度) (2004) 岡山市教育委員会/岡山市埋蔵文化財センター年報3 (平成14) 年度(2004) ハガ遺跡(2004) 百間川沢田遺跡(2004) 総社市教育委員会/総社市埋蔵文化財調査年報13 (平成14年度) (2004) 総社市埋蔵文化財発掘調査報告17(2004) 岡山県教育委員会/津島遺跡(2004) 岡山大学文学部考古学研究室/瓜生田遺跡発掘調査概報(2004) 岡山理科大学研究会/吉井川 流域を科学する P a r t 2第5回「岡工学」シンポジウム(2003)

広島県

(財)広島市文化財団/史跡中小田古墳群遺構状況確認調査報告(2004) 史跡広島城跡本丸遺構保存状況調査報告(2004) 可部寺山1号遺跡(2004) 研究連絡誌「平成14年度(2004)

山口県

下関市教育委員会/蓋井島下り遺跡(2004) 串崎城跡(2004) 鏡遺跡(2004) (財)山口県ひとりづくり財団山口県埋蔵文化財センター/陶けん 第17号(2004) (財)山口県教育財団山口県埋蔵文化財センター/上領遺跡(2004) 銭屋遺跡I(2004) 武久川下流域系里遺跡(2004) 萩城跡(外堀地区) II(2004) 下関市立考古博物館/研究紀要第8号(2004) 下関市立考古博物館年報9 平成15年度(2004) 定住のはじまり - 1万年前の社会「平成16年度企画展」(2004) 山口市教育委員会/山口市埋蔵文化財年報3 平成14年度(2004) 和田遺跡(2003) 中込田遺跡「(2004)

徳島県

徳島市教育委員会/徳島市埋蔵文化財発掘調査概要12・13(2002~2003) 阿波国府跡発掘調査報告書(2002~2003)

香川県

丸亀市教育委員会/中の池遺跡 - 第11次調査 (2005)

愛媛県

(財)松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター/北久米遺跡2次調査地・南久米町遺跡4次調査地(2004) 東山古墳群「3次調査・6次調査(2004) 北久米遺跡3次調査地(2004) 系原遺跡5次調査地(2004) 来住・久米地区の遺跡V(2004) 松山市埋蔵文化財調査年報15 平成14年度(2004) 東山古墳群 4・5次調査(1994) 北久米浄蓮寺遺跡 3次調査地(1994) 福音小学校構内遺跡 弥生時代編(1995) 愛媛大学埋蔵文化財調査室/愛媛大学埋蔵文化財調査室年報2001・2002年度(2004) 文京遺跡(2004)

福岡県

福岡市教育委員会/蓮島遺跡(2004) 手光緑遺跡(2004) 豊前市教育委員会/河原田善九遺跡(河原田遺跡群II) (2003) 吉木穴井遺跡(2003) 四郎丸米ヶ谷遺跡(2003) 宗像市教育委員会/曲田代(2004) 武九初瀬(2004) 大井平野(2004) 光岡長尾I(2004) 福岡市教育委員会/福岡市埋蔵文化財センター年報第22・23号 (2004) 博多87・97・98・99・100(2004) 梅林遺跡 第4次・5次調査(2003) 比志33・34・35・36・37(2004) 飯倉B遺跡(2004) 井尻B遺跡12・13(2004) 梅林遺跡7 第7次調査(2004) 大橋E遺跡6 第8・9次調査報告(2004) 下月隈C遺跡IV - 本文編 - (2004) 下山

門乙女田3(2004) 次郎丸高石1(2004) 高畑遺跡 第19次調査報告(2004) 那珂35・36(2004) 七隈古墳群-C2号墳調査報告-(2004) 野茶4(2004) 箱崎17・18・21 箱崎遺跡第22次調査報告(1)(2004) 橋本1丁遺跡4(2004) 羽根戸原C遺跡群、羽根戸原C遺跡第5次調査報告(2004) 原道跡11 原道跡第22次調査報告(2004) 樋井川B 樋井川B遺跡群第1次調査報告(2004) 東山古墳群 東山古墳E群第1次調査報告(2004) 藤崎遺跡15 藤崎遺跡32次調査報告(2004) 三宅A遺跡・三宅B遺跡・三宅C遺跡・三宅D遺跡の第2次調査報告(2004) 元岡・桑原遺跡群3 第3-4・8-11次調査の報告(2004) 弥永原遺跡5 第6次調査報告(2004) 福岡市埋蔵文化財年報Vol. 17 平成14(2002)年度版(2004) 九州大学大学院人文科学研究科考古学研究室/対馬古田遺跡-縄文時代遺跡の発掘調査-(2004) 直方市教育委員会/興徳寺遺跡(2004) 感田 野添・湯ノ浦遺跡(2004) 那珂川市教育委員会/中原・ヒナタ遺跡群(2003) 観音山古墳群VI(2003) 新吉富村教育委員会/宇野地区遺跡群VI(2004) 大牟田市教育委員会/羽山遺跡III(2003) 片平塚遺跡(2004) 福岡県教育委員会/堂畑遺跡II(2004) 大府遺跡II(2004) 東九州自動車道開通埋蔵文化財調査報告1(2004) 前原市教育委員会/三雲・井原遺跡IV(2004) 三雲屋敷遺跡の調査 男女土製人形の発見Vol.1(2004) 大宰府市教育委員会/大宰府条坊跡2・24・25 (CD-ROM) (2004) 大宰府・佐野地区遺跡群17・18 (CD-ROM) (2004) 大宰府・国分地区遺跡群1 (CD-ROM) (2004) 久留米市教育委員会/久留米市埋蔵文化財調査集録VI(2004) 破道跡II第4次調査(2003) 平成15年度久留米市内遺跡群(2004)筑後国府跡(2004) 日渡遺跡群II 日渡遺跡第2次調査(2004) 円形野外講堂(2004) まいぶん久留米第3号(2004) チョットみ展 第28回くまの考古資料展 春日市教育委員会/御殿遺跡(2004) 仁王手遺跡A地点(2004) 大南遺跡B地点(2004) 春日市埋蔵文化財年報11 平成14年度(2004) 小郡市教育委員会/三沢北中尾遺跡6・7(2003) 三沢北中尾遺跡1地点 環瀬編(2003) 井上南内原遺跡2(2004) 大保原遺跡6(2004) 埋蔵文化財調査報告書4(2004) 力武前遺跡2(2004) 井上小松山遺跡1・2(2004) 大板井遺跡VI・VII(2004) 上岩田遺跡11・12区(2004) 干瀧二ツ塚遺跡(2004) 力武内遺跡7(2004) 三沢遺跡3地点(2004) 筑穂町教育委員会/内野地区遺跡群1(2004) (財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室/寺町遺跡3(第3次調査5区) (2004) 蒲生寺中遺跡2(1区・2区)の調査(2004) 蒲生大野遺跡1(1区・2区・7区)の調査(2004) 横代丸ノ内遺跡2次(2004) 横代西ヶ迫遺跡(2004) 長野コイトヲ遺跡3次(2004) 長野尾登遺跡第2地点J区・長野角屋敷遺跡第6地点(2004) 小倉城代御蔵跡(2004) 小倉城新馬場跡(2004) 三朗丸遺跡1地点(2004) 上葛原遺跡(2004) 朽網南塚遺跡3・4(2004) 宗林寺墓跡(2004) 真光寺墓跡(2004) 中賀ミカキ遺跡(5a区)の調査(2004) 長野尾登遺跡3地点3(2004) 丸ノ内遺跡(第3次)・長野コイトヲ遺跡(第4次)・長野尾登遺跡(第2地点。区)・長野尾登遺跡(第3地点F区)(2004) 上清水遺跡7区・カキ遺跡3地点(2004) 諏訪遺跡(2004) 研究紀要第18号(2004) 埋蔵文化財調査室年報20 平成14年度(2004) 大野城市教育委員会/松葉園遺跡I(2003) 牛頭本堂遺跡群I第3次調査(2003) 牛頭野添遺跡I第2-3次調査(2004) 御笠の森遺跡I第9次調査(1)(2004) 牛頭本堂遺跡群II第5次調査(第1冊)(2004) 大野城市の文化財第35・36集(2003-2004) 田川市教育委員会/備前1号墳(2004) 芦屋町教育委員会/長井原遺跡(2001) 千光院文書(2002) 山鹿貝塚(第5次調査)(2002) 三輪町教育委員会/山隈大洗遺跡II・小鷹城跡(2004) 八女市教育委員会/西山ノ上遺跡(1-2次調査)(2004) 筑後市教育委員会/中折内栗道跡(2004) 前津柳ノ内遺跡(2004) 山ノ井南野遺跡(2004) 筑後西部第2地区遺跡群(VII) (2004) 筑後東部地区遺跡群VII(2004) 筑後市文化財分布地図(2004) 甘木市教育委員会/堤上原遺跡(2004) 三奈木野口遺跡(2004) 朝田山遺跡(2003) 甘木市文化財年報(平成14年度) (2004) 田三奈木東田家庭園(平成14年度原遺跡) (2003) 自然ハンドブック「野鳥」(2004) 甘木市文化財年報(平成13年度) (2003) 三奈木久保田遺跡(2002) 秋月城下町遺跡1・2(2002-2003) 柿原原ノ前遺跡・三奈木段ノ裏遺跡(2003) 朝倉町教育委員会/長安寺庵寺跡・宮地獄古墳群(2004) 田主丸町教育委員会/大塚古墳群I(2004) 津屋崎町教育委員会/新原・奴山古墳群II(2001) 奴山伏原遺跡(2002) 津屋崎町内遺跡(2002) 津屋崎古墳群I(2004) 在西ノ後遺跡II(2004) 筑紫野市教育委員会/若江天神社前遺跡(2004) 原田第1・2・40-41号墓地-中巻-(2004) 福岡大学人文学部考古学研究室/長崎県・景景園遺跡の研究-福岡県京郡部における二古墳の調査-佐賀県・東十郎古墳群の研究(2004) 行橋市教育委員会/古代の飾り矢-豊の国の金鉄-平成十六年度企画展(2005) 豊津町歴史民俗資料館/豊前国府跡御所地区(2003) 二丈町教育委員会/実田3号墳(2000) 森田遺跡-中世・製鉄関連遺跡の調査-(2000) 大坪遺跡III(2000) 才良木遺跡(2001) 石崎 曲り田遺跡 第3次調査(上)(2001) 吉井地区遺跡群I・II・III(2002-2004) 二丈中学校内遺跡II(2003) 正覚寺境内遺跡(2004) 深江川原(2004) 西光寺址とひやくまんべん(2004) 粕屋町教育委員会/阿志原古遺跡(2004) 芦屋町教育委員会/芦屋町歴史民俗資料館年報3・4・5号(2001-2003) 行橋市歴史資料館/連歌の里ゆかし 平成16年度秋季特別展(2004) 福築町教育委員会/福築町史・上・下巻(2004)

佐賀県

鎮西町教育委員会/前田家陣跡(2004) 佐賀県名護屋城博物館/名護屋城博物館だより17(2004) 大和町教育委員会/肥前国府跡-遺構編-(2000) 町内寺院調査報告書3 肥前国春日山高城陣寺(2002) 国分遺跡(2001) 久地井六本杉遺跡2(1996) 北原遺跡(1-3次調査) 久地井二本松遺跡(3次調査) (1996) 船所遺跡(1996) 鳥栖市教育委員会/西浦遺跡(2004) 横井古墳群(2004) ヒヤンガンサン古墳復原整備事業報告書(2004) 鳥栖の中世V(2004) 唐津市教育委員会/唐津市内遺跡確認調査(20) (2004) 天神ノ元遺跡(2)・(3) (2004) 枝去木山中遺跡(III)・(IV) (2004) 徳蔵谷遺跡(5) (2004) 菜畑内田遺跡(4) (2004) 久里六本杉遺跡(1980) 遠見遺跡(1982) 上場遺跡(1982) 後川内遺跡群(II) (1983) 西浦遺跡(1984) 菅平田黒龍遺跡(1985) 小十ヶ峯跡・大良中尾二ツ枝遺跡概報(1985) 枝去木幹線水路建設に伴う文化財調査概報(1985) 淡中野遺跡(1985)鏡神社経塚(1986) 見借遺跡群(1986) 名場越後田遺跡(1986) 中原遺跡(1987) 久里園遺跡(1987) 双水山遺跡(1987) 宇木汲田遺跡調査概要(1987) 唐津市内遺跡確認調査(1)~5・7~15(2004) (1987-1999) 唐津城跡(1-III) (1986) 笹ノ尾遺跡群(1988) 小十ヶ峯跡(1988) 菅0内田遺跡群確認調査(1988) 黒部基蔵山遺跡(1988) 十進(II) 遺跡(1988) 草履作遺跡(1989) 唐ノ川境遺跡(1989) 唐ノ川西ノ吹遺跡(1990) 枝去木山中遺跡(1990) 唐ノ川高峰遺跡(1・3) (1990・1996) 竹小場前田遺跡(1・2) (1991・1996) 淡松本遺跡(1・2) (1991・1995) 菅平田西山遺跡(1・2) (1991・1998) 山田岡六遺跡(上) (1991) 千賀古園遺跡(II)(1991) 中尾二ツ枝(1・2) (1991-1992) 神中村遺跡(1992) 久里及水古墳確認調査概要報告(2) (1993) 十進遺跡(1993) 日ノ出松遺跡(1993) 徳蔵谷遺跡(1・2・3) (1994-1996) 高峰遺跡(2) (1994) 久里及水古墳調査概要(3) (1994) 梨川内村前遺跡(1・2) (1994-1996) 「玄海幹線」工事に係る文化財確認調査(1995) 雲透遺跡(1) (1996) 枝去木山中遺跡(II) (1996) 菜畑内田遺跡・(2) (1996) 唐ノ川遺跡群(1997) 佐志中遺跡(1997) 菅平田西山遺跡・山田岡六遺跡(1997) 八幡藩第遺跡(1・2) (1997-1998) 雲透遺跡(II) (1998) 竹本場丹ノ木遺跡(1999) 玄海町教育委員会/松隈家文書目録(2002) 河江城跡調査概報(2003) 佐賀市教育委員会/徳永遺跡8・14・15・18・22区(2004) 上和泉遺跡7区(2004) 上九郎遺跡・薬師丸五本柳遺跡(2004) 佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書2001年度(2004) 洞五本松遺跡・石上井遺跡(2004) 牛島遺跡(1-3区・5区)の調査(2004) 平尾二本杉遺跡(2区)の調査(2004) 平尾二本杉遺跡(2004) 牛島遺跡(4区)の調査・牛島二本松遺跡(1区)の調査(2004) 山内町教育委員会/阿捨利遺跡(2005) 堀田町教育委員会/肥前堀田津(2004)

長崎県

大村市教育委員会/高の原遺跡(2004) 黒丸遺跡はかばか掘調査概報Vol. 4(2004) 松浦市教育委員会/松浦市内遺跡確認調査(2) (1998) 松浦・今福遺跡(1998) 小島遺跡(2000)松浦市内遺跡確認調査(3)・(4)(2001・2003) 田口高野遺跡(2001) 下谷遺跡(2002) 田平町教育委員会/中野ノ辻遺跡・里田原遺跡(1982) 里田原遺跡第2-3集(1985・1988) 笠松天神社古墳第5・7・8・9集(1988) 中野ノ辻遺跡(1992) 里田原遺跡略法II(1974) 里田原遺跡第21・25・32・38集(1975-1978)

熊本県

熊本大学埋蔵文化財調査室/熊本大学埋蔵文化財調査室年報10-2003年度(2004) 旭志村教育委員会/古閑下遺跡(1998) 前畑遺跡(2003) 伊坂東原遺跡 第1・2次調査(2003) 栄ノ平遺跡(2004) 伊坂上ノ原遺跡(2004) 鹿史町教育委員会/天神免遺跡(2004) 三加和町教育委員会/豊前街道(腹切坂) 保存整備工事報告書(2004) 熊本大学文学部考古学研究室/考古学研究室報告第39集(2004) 先史琉球の生業と交易(2003) 熊本県立装飾古墳館/鞠背城跡 第24次調査報告(2004) 大塚原前遺跡(2004) 南関町教育委員会/鷹ノ原城跡(南関城跡)(2004) 玉名市教育委員会/東南大門遺跡(2001) 岩崎城跡(2003) 玉名市内遺跡調査報告書II 平成13-14年度の調査(2004) 熊本市教育委員会/熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書 平成15年度(2004) 大江遺跡群V(2004) 池辺寺跡VI 平成14年度発掘調査報告書(2004) 神水遺跡VI(2004) 扇田遺跡(2004) 玉名市立歴史博物館ころころピア/伊倉城跡(2003) 八代市教育委員会/若宮官軍墓跡・横手官軍墓跡(2002) 西片町遺跡(園田地区)(2002) 古龍城跡(2002) 宮地陣跡・キリシタン寺院跡・宮地池尻遺跡(2003) 八代日記「宮地陣跡・キリシタン寺院跡・宮地池尻遺跡」資料編(2003) 熊本県指定史跡 平山瓦窯跡(2003) 八代海干拓施設調査報告書(2004) 熊本県指定重要文化財 本道阿弥陀三尊像修理報告書(2004) 熊本県指定史跡 田川内第1号古墳-石室修理報告書-(2004)

大分県

大分市教育委員会/府内城・城下町跡 第14・15次発掘調査報告書(CD-ROM) (2003-2004) 大友府内5・6(CD-ROM) (2003) 玉沢地区条里跡 第6次発掘調査報告(2003) 大分市埋蔵文化財調査年報 vol. 11・13 (2000・2002) 大分市 市内遺跡確認調査概報 2002-2003年度(2003-2004) 下樺六墓群 (CD-ROM) (2003) 金谷迫遺跡発掘調査報告書(2004) 古国府跡群・上七曾子遺跡(2003) 賀米遺跡群第1-2次発掘調査報告書(2004) 永興千人塚古墳発掘調査報告書(2002) 野津原町教育委員会/入蔵遺跡(2004) 中津市教育委員会/諸田遺跡群丸地区(2003) 中津城下町遺跡 殿町地区発掘調査報告書(2004) 中津城下町遺跡 殿町平塚区跡原殿跡(2003) 大池南遺跡・神代地区条里跡 矢永地区・五堆地区・中津城本丸南西石垣(III) (2004) 竹田市教育委員会/竹田地区遺跡群・城下町遺跡群V(2003) 史跡岡城跡保存整備基本設計報告書 平成14年度(2003) 史跡岡城跡XVII・XVIII・XIX(2002-2003) 三重町教育委員会/三重地区遺跡群発掘調査概報(2004) 玖珠町教育委員会/平原遺跡 参勤交代路跡(2004) 久住町教育委員会/脇道遺跡(2003) 尾根遺跡・上七里遺跡・大塚遺跡(2003) 老野遺跡(2004) 久住町の文化財 第2版(2004) 九重町教育委員会/栗野村庄屋森氏屋敷跡(2003) 大分県立歴史博物館/豊後岡安殿の調査(本編・資料編補遺)(2004) 三光村教育委員会/三光村の遺跡(佐久久保畑遺跡)(2004) 佐伯市教育委員会/佐伯藩政資料積目録 平成16年度(2004) 宇佐市教育委員会/小部遺跡(2004) 大分県教育庁埋蔵文化財センター/大分県文化財年報12(2004) 久末京徳遺跡(2004) 上野町遺跡・彌生遺跡(2004) 黒岩遺跡(2004) 東大遺跡(2004) 豊前市教育委員会/河原田塔田遺跡(2004) ぶぜんのみ話(2004) 大分県立歴史博物館/豊前再興 富貴寺大堂堂舎の復元(2004) 大分県立歴史博物館 研究紀要5(2004) 天瀬町教育委員会・天瀬町史研究会/史料に学ぶ天瀬の歴史(2004) 九重町教育委員会/九重町歴史資料館年報(2004) 大分市歴史資料館/大分市歴史資料館ニュース63-67(2003-2004) 大分県立先史資料館/収録史料目録1-2(2002-2004) 史料館研究紀要第8-9号(2003-2004)

宮崎県

清武町教育委員会/須田木遺跡(2004) 白ヶ野第1・第4遺跡(2004) 上猪ノ原遺跡3・下猪ノ原遺跡(2004) 三股町教育委員会/三股町内遺跡、(2004) 宮崎市教育委員会/垂水第2遺跡(2002) 史跡生目古墳群(2004) 池間・江口遺跡(2004) 宮崎市埋蔵文化財センター/西下本庄遺跡(1999) 牛牛牧第5遺跡・銀座第3A遺跡(2003) 西原第1遺跡・西原第2遺跡D区(2004) 豊満大谷遺跡・野添遺跡(2004) 池島遺跡(2004) 宇都第3遺跡・横市中原遺跡(2004) 野首第1遺跡(2004) 東畦原遺跡(2004) 宮田遺跡(2004) 高野原遺跡第5地点(2004) 下那珂遺跡(2004) 田野町教育委員会/本野原遺跡(2004) 黒草第2遺跡(2004) 高野原遺跡B・C区(4) (2004) 本野原遺跡(2004) 都城市教育委員会/馬渡遺跡(2004) 市地区遺跡群 加治屋B遺跡(第2次調査)・星原遺跡(2003) 鶴崎遺跡(古墳時代編)(2004) 王子原第2遺跡(2004) 江内谷遺跡(2003) 西部市教育委員会/砥園原地区遺跡(2004) 国分第3遺跡(2004) 都都郡城跡発掘調査概要報告書(2004) 市内遺跡発掘調査概要報告書IX(2004) 平成15年度西部原古墳研究所・年報第20号(2004) 延岡市教育委員会/平成9・10・11・12・13・14・15年度市内遺跡発掘調査に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1998-2004) 延岡城内遺跡I(2002) えびの市教育委員会/北岡松地区遺跡群(2005) 延岡市埋蔵文化財センター/唐木戸第1遺跡(2004) 中山遺跡(2004) 音明寺第2遺跡(2次調査)(2005) 藤山第2遺跡(2004) 竹瀧C遺跡(2005) 三俣城北東曲輪跡(2004) 東畦原第2遺跡(2005) 山口遺跡第2地点(2005) 唐木戸第2遺跡(2005) 尾花坂上遺跡(2005) 音明寺第1遺跡(2005) 戸戸遺跡(2005) 牧内第1遺跡(四次調査)(2005)

鹿児島県

鹿児島県立埋蔵文化財センター/三角山遺跡群(2) (2004) 東免遺跡・曲迫遺跡・山神遺跡(2004) 東郷坂A遺跡(2004) 後迫遺跡(2003) 横井竹ノ山遺跡(2004) 上野城跡(2004)大原野遺跡(2004) 上ノ平遺跡(2004) 九裏阿遺跡・熊馬遺跡・高篠遺跡(2004) 下水迫A遺跡(2004) 宮尾遺跡(2004) フミカキ遺跡(2004) 桐木遺跡 第1・2・3分冊(2004) 中野西遺跡・松山西遺跡(2004) 研究紀要-年報 縄文の森から 第2号(2003) 鹿児島市教育委員会/鹿児島市埋蔵文化財確認調査報告書I(2004) 金峰町教育委員会/船受遺跡・弥十遺跡・針原遺跡・上水流C.D遺跡・大迫田遺跡(2003) 上埴田B遺跡・上埴田B遺跡(2003) 筆付遺跡(2004)

平成16年度 (2004度)

日田市埋蔵文化財年報

| | |
|-----|--|
| 発行日 | 平成17年6月17日 |
| 編集 | 日田市埋蔵文化財センター 日田市教育委員会文化財保護課 〒877-0077 大分県日田市南友田町516-1 TEL 0973-24-7171 |
| 発行 | 日田市教育委員会 〒877-8601 大分県日田市田島2-6-1 TEL 0973-23-3111 |
| 印刷 | カワハラ企画 大分県日田市水目町315-4 |